

2021年度 日本工学院八王子専門学校											
音響芸術科											
サウンドシステム 2											
対象	2 年次	開講期	前期	区分	必	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	栃木哲也			実務 経験	有	職種	レコーディングエンジニア				
授業概要											
近年のレコーディングはコンピュータによるDAW化によって手軽なものとなり、簡単な操作をすれば何かしらの音の変化を起こすことが可能になった。しかし、闇雲に音をいじる事は完成時に取り返しの付かない効果を招くこともある。目的とする音作りの到達は、音の現象を正しく理解し、効率的にパラメーターをいじることによって速度アップが可能となる。											
到達目標											
電気の基礎的理解を元に交流である音の理解を広げていく。またアナログ機器とデジタル機器を平行して学習していくことにより、音の処理を基本的な部分から理解し、音の変化の仕組みもイメージ出来るようにする。音の関する単位や様々な基本的な数値についてもしっかりと記憶して頂きま、プロフェッショナル・エンジニアとしての知識を豊富にしていく。											
授業方法											
プリント資料を随時配付し、自分で完成させるワークタイプの物も配布するが、各自で音響関連の用語集を持参する事が望ましい。講義形式の授業である。前回までの各項目を理解した上での次項目へ繋がるため、復習も随時行いながら進行する。復習や仮説においては各自の発言の機会もあるので、積極的な参加が望ましい。											
成績評価方法											
筆記試験、授業内課題											
履修上の注意											
この授業では、音を扱うプロとしてノイズと捉えられる授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。公共交通機関の影響によるやむを得ない理由をのぞき遅刻や欠席は認めない。授業時数の4分の3以上出席しない者は実習関連の試験を受験することができない。											
教科書教材											
音響映像設備マニュアル											
回数	授業計画										
第1回	音についての再認識										
第2回	デジタルオーディオ1										
第3回	デジタルオーディオ2										

2021年度 日本工学院八王子専門学校	
音響芸術科	
サウンドシステム 2	
第 4 回	電気回路 1
第 5 回	電気回路 2
第 6 回	電気回路 3
第 7 回	エフェクター基礎 1
第 8 回	エフェクター基礎 2
第 9 回	コンソールの概要 1
第 1 0 回	コンソールの概要 2
第 1 1 回	レコード・アナログ・機器
第 1 2 回	デジタルフォーマット
第 1 3 回	各種パッケージ
第 1 4 回	全体の確認と復習
第 1 5 回	後期まとめ